

初夏の大日岳へ行く

2002年夏山情報4号 6 / 16

先日の長次郎雪渓からの敗退から、今回は綿密に計画を立てて、剣岳の完全縦走・・・馬場島に自転車を置いて、室堂から剣岳の頂上・・・早月尾根を下りて、自転車で日本海まで行く・・・を狙ったのですが、またもや断念しました。・・・あまりの風の強さと、寒さと、ガスで、急遽「大日岳の縦走」に切り替えました。・・・しかし、称名滝へは意外と時間がかかり、最終バスには間に合わず、結局立山駅からの電車は20:10自宅へ着いたのは、なんと22:00・・・なんとも長い1日でした。

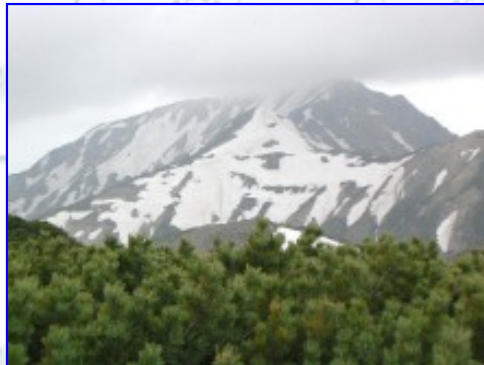
今日の日程

自宅 4:00	—	馬場島 4:40	—	滑川駅 6:15	—	立山駅 8:00	—	室堂 9:00	—	剣御
前小屋 11:00	—	室堂乗越 12:00	—	奥大日岳 14:00						
—		中大日岳 15:00	—	大日岳山荘 15:30	—	大日平小屋 16:30	—	称名滝駐車場		
17:30	—	立山駅 20:00	—	滑川駅 22:00						

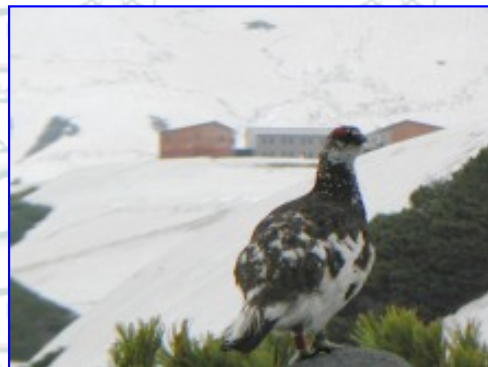
今日は、剣岳を日帰り完全制覇と思い、気合を入れて、早朝に馬場島へ・・・天気はまずまずか・・・だんだん、天気がよくなる兆しが。この時期の夜明けは早い・・・もう明るい



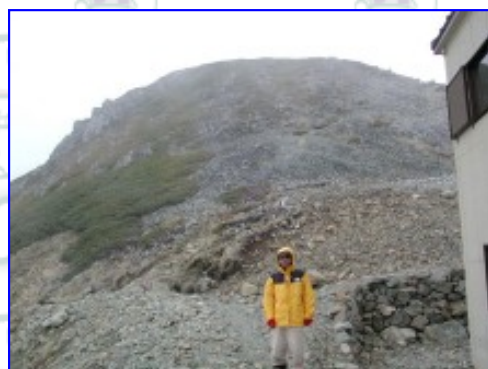
室堂にて、天気はまあまあなのだが、立山の稜線にはガスがかかってほとんど見えない。室堂周辺は先日はたくさんあった雪がもう雪がほとんど解けていた。大日岳を望む。右はだいぶ解け始めた「みくりが池」・・・現在、みくりが池温泉は工事のため、日帰りの温泉は入れません。



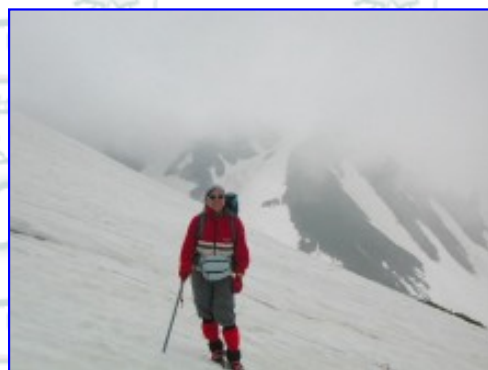
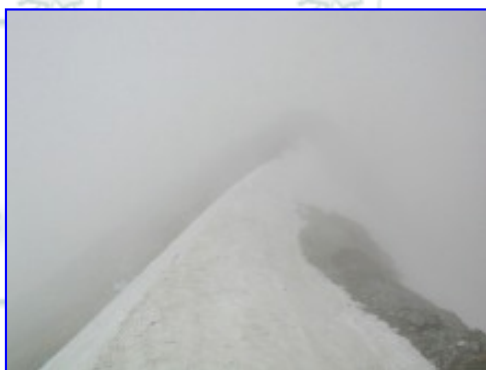
雷鳥のスナップ・・・この雷鳥は人懐っこい・・・なかなか愛嬌よしで、ずっと岩の上でポーズをとっていました。足首に標識があり、いつもいるようです。右の写真は室堂小屋をバックにしてあります。



剣岳御前へ登る・・・雪の状態はよく、登りやすい、真ん中は最後の雪渓を上り終えた登山者・・・スキーヤー
右は、剣御前小屋のそばにて、スナップ写真。



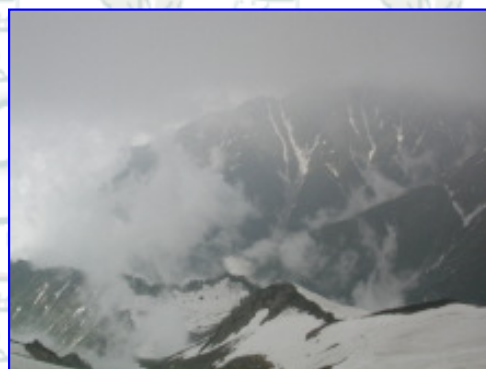
あまりの視界の悪さにルートを変更・・・「大日岳縦走」に切り替えた。
途中、「剣御前小屋」の方に会った・・・先日から話題の「ナイフエッジ」今はさほどではありません。小屋の方が・・・
スコップが見えるでしょう・・・平らに削りました。
右は、剣御前小屋の従業員さん、一度下界へ下りるそうです。・・・



室堂乗越からの大日岳への稜線、ちょっぴり見えた「剣岳」やはり今日剣岳まで行けばよかったかなと、ずっと大日岳縦走中、思いながら・・・ひたすら進む。



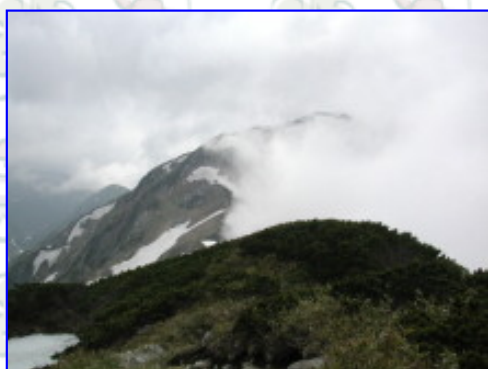
奥大日岳手前のピーク・・・ピバークするところはたくさんありますよ。
稜線の「せっぴ」はご覧の通り、まだ少し残っています・・・でも気をつければ大丈夫です。
右の写真は、ようやく開けてきた、「剣岳早月尾根」です。



奥大日岳頂上からの展望です。・・・あまり見えませんが。
真ん中の写真は、頂上よりの稜線の展望です。登られる方は、参考にしてください。



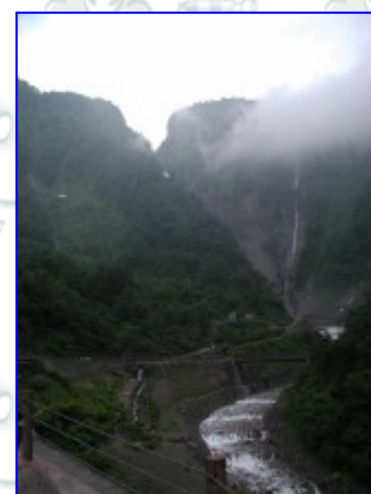
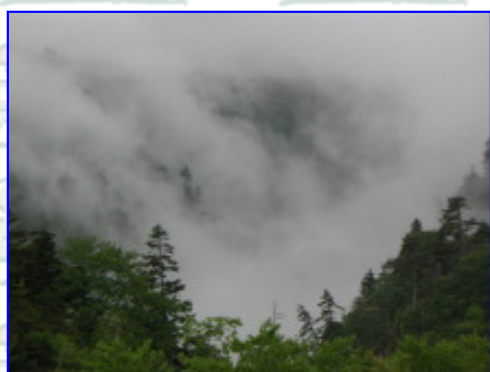
中大日岳への稜線です。
真ん中は、このコース最大の難所・・・ここだけは、ピッケルとアイゼンが必要な気がするのですが。
右は、中大日岳から途中の「ヤマザクラ」・・・まだまだシーズンはこれからです。



大日平はもう完全に初夏・・・山つつじはもう終わりを迎えようとしている。



大日平山荘からの称名溪谷はちょっと幻想的だ・・・いつもこのようなガスがかかっている。
・・・なんと「ちんぐるま」の花が満開だ。・・・下の方では、もう花がちっています。
今年の大日平の夏は早いです。・・・小屋では、二人の方が作業をしていました。
・・・今日のルートは、予想外に時間がかかってしまって、称名滝に着いたのは、こんな時間・・・もう薄暗くなってきました。
・・・ここから歩くのは大変だな・・・



地獄谷経由で雷鳥沢へ・・・雷鳥沢のロッジの付近で記念写真・・・
まだまだ、滑れる雷鳥沢スキー場???滑っているスキーヤーは1人だけ。
雷鳥沢は、そろそろ解けて沢が見え始めています。・・・まだ雪渓を渡れます。



室堂乗越へのお花畑には、昨年より早くきたのに、昨年より花が少ない。
2500mまでは、雪解けは早いが、反対にそれ以上は意外と雪どけが遅くなっているようだ。
今年の山へは、注意が必要だ・・・・



中大日岳から大日岳への稜線・・・・大日岳山荘が見えました。
・・・・ここまできると、一気に雪が無くなっているようです。・・・・やはり今年は、2500mを境とした雪解けの量が圧倒的に差があるようだ。
右の写真は、大日平へ下りる登山道から・・・・もうここでは雪がほとんどない・・・・
昨年の縦走では、このルートにも、雪がいたるところにびっしりあったのだが・・・・

